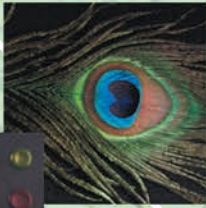


2017年12月2日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

テーマ：黒が大事！イカスミと鳥の構造色

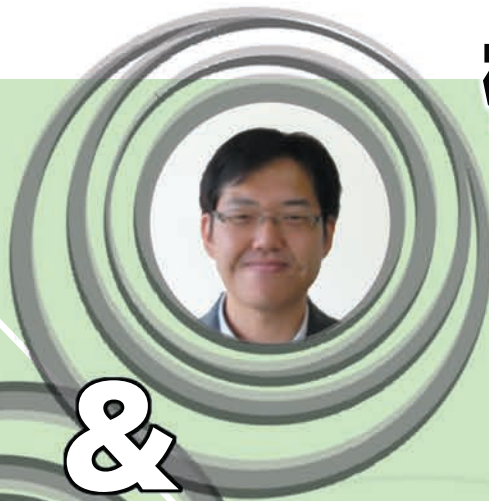


孔雀の美しい羽の発色の仕組みは??
 最近の研究により、
 色の正体は羽内部に形成されている、
 黒色のメラニンからなる
 微細構造由来の構造色
 であることがわかってきました。
 これら自然界の発色を理解し、
 人工的に再現することが出来れば、
 新しい発色の色材としての
 利用が期待されます。
 本講演では、
 構造発色における
 黒色のメラニンの重要性を
 解説するとともに、
 人工メラニンによる
 構造発色材料の開発
 について紹介します。

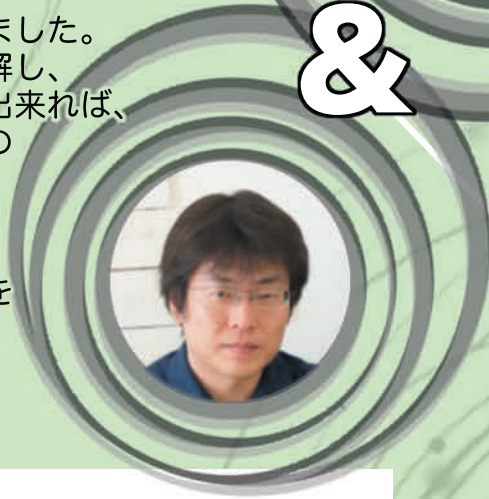
イカ墨を使った太陽電池?!

北海道教育大学函館校

松浦 俊彦



&



イカは
 食卓に欠かせない食材ですが
 墨の多くは廃棄物として
 処理されています。
 廃棄物イカ墨を
 有効資源に転換させようと
 研究しているうちに
 イカ墨は粒子径が揃っていて
 熱に強く
 光を幅広く吸収できる
 優れた天然色素であることが
 明らかになりました。
 本講演では、イカ墨を使った食べられる
 プリンター黒色インク
 ヘアカラーリング剤
 そして次世代太陽電池にする
 最新の環境技術について紹介します。

孔雀の羽は、黒が命

千葉大学工学研究科

桑折 道清



主 催：北海道大学総合博物館
 共 催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」
 高分子学会北海道支部
 協 賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館
 060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
 問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX. 011-706-4029
 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会 場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」
 札幌市北区北10条西8丁目

時 間：午後1時30分から午後3時30分